

## 7. 管理方策検討試験

### 1) 網目拡大試験

倉長 亮二

#### 目的

沖合底曳網漁業の資源管理施策の一つとして網目拡大の可能性を検討する。

#### 方法

鳥取県漁業協同組合網代港支所所属の沖合底曳網船を用い、ハタハタを対象とした二重網を用いた網目選択試験を行なった。

#### 結果

試験の結果、7節を用いると1歳魚の殆どと2歳魚も抜けてしまい、8節では1歳魚の半分程度が抜け、9節では1歳魚も殆ど抜けないことが判った。(図1) これらの結果から春先漁獲されるハタハタ1歳魚(じんたん)を保護し、4、5月に成長した1歳魚を漁獲するには8.5節

程度が適当ではないかと思われた。

この結果を各地区の沖合底曳網船長会で報告し、網目拡大の意向について質問したところ、8節でも良いのではという意見もあったが、漁場の競合する兵庫県の沖底と連携することが課題として上げられた。

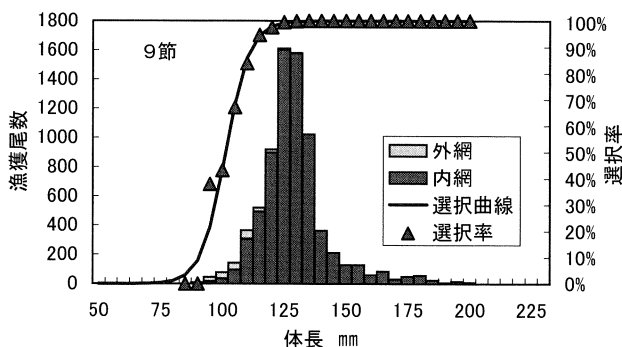
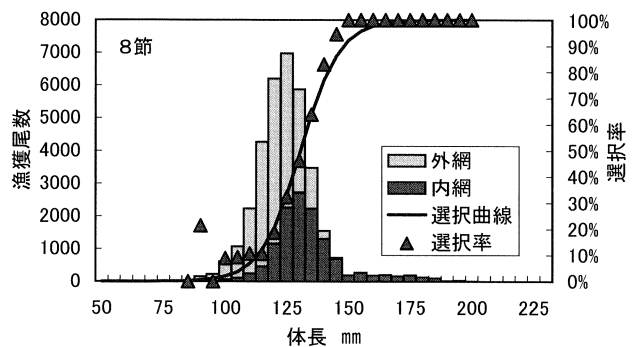
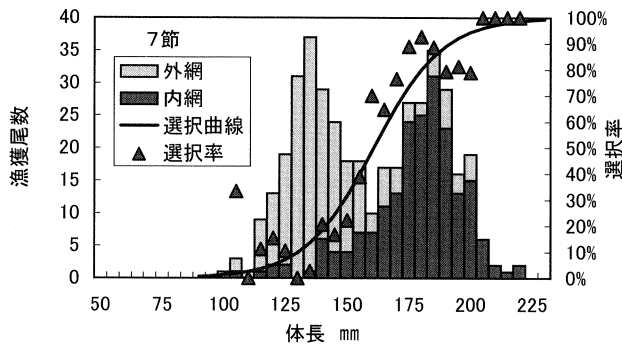


図1 網目選択試験結果